

# 外来腎臓病教室を開催して (腎不全保存期教育の試み)

大津第一クリニック

# 第1回外来腎臓病教室の目的

- 1) 病識をもってもらおう
- 2) 導入になったとき、スタッフと面識があること、事前知識があることで透析開始をスムーズに受け入れられる。
- 3) 同じ病気を持つ人同士、仲間意識を持ち、闘病意欲がわく。
- 4) 家族への日常生活管理へのサポート
- 5) まずは集団指導の感触を掴み、今後の患者教育に活かすこと。

# 第1回外来腎臓病教室の内容

- 1) 腎臓病の病態について
- 2) 食事について
- 3) 検査値と内服薬について
- 4) 保険について
- 5) 質疑応答

# 第一回腎臓病教室の様子



# 第1回外来腎臓病教室の反省

- 内容を盛りだくさんにしたため、参加者を疲れさせた。(時間が長かった)
- 3階大会議室での開催でエレベーターがなく、車椅子での参加が不可能だった。
- 利益がなかった。
- スタッフの見学が多く、緊張感が強かった。

# 第2回外来腎臓病教室の目的

- 1) 必要最低限の病識をもってもらい、病気を受け入れることができる。
- 2) 腎臓病食を頭と舌で理解してもらおう。
- 3) 集団で仲間がいるという支えを見出せる。
- 4) 医療スタッフと面識を持ち、外来でも相談しやすいようにする。

# 第2回外来腎臓病教室の内容

- 1) 腎臓病食の昼食
- 2) 管理栄養士による栄養指導
- 3) 腎臓病の進行とその予防について簡単な話
- 4) 薬の種類と必要性について
- 5) 質疑応答

# 第2回腎臓病教室の様子



左 本日のランチ

右 食事風景 「お口に合いますか？」

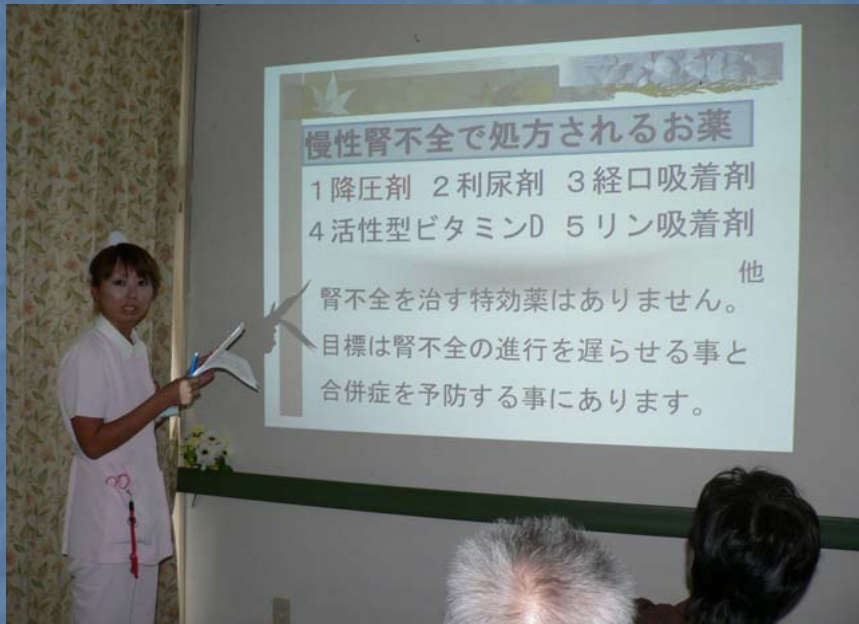
# 第2回腎臓病教室その2



左 昼食のあとは、栄養指導

右 病態について「あーなって、こーなるのです。」

# 第2回腎臓病教室その3



左 薬の説明中

右 質疑応答 「そうそう、私もよ。」なんて仲間意識も芽生えます。

# 第2回腎臓病教室その4



見よ！参加者？の、このスマイル！！

## 第2回目の結果と反省

- 雰囲気がよく、意見も活発に出た。
- 集団指導料が加算できた。
- 12:30開始で、透析室の多忙な時間と重なった。
- 2階のディルームで開催したため、車椅子での参加も可能になった。

# 家庭訪問の様子



腎不全保存期のかたですが、指導がよかったのか、指導後の家族のサポートがよいのか、幸い、透析導入はまだです。

# まとめ

保存期の患者教育の目的は、  
腎不全の進行を緩やかにすること。  
病気を受け入れることができるよ  
う手助けをおこなうこと。